

2015年2月23日

日本共産党県議団
尾村利成

一問一答質問項目表

1. 福島原発事故の現状と教訓について

- ① 原発事故から4年が経過する福島の現状を、どう見ているのか、伺う。(知事)
- ② 福島第一原発から、60キロ地点に位置する福島市において、未だ、除染作業が実施されている。また、40キロ地点の飯館村では、多くの住民がふるさとに帰れず、避難生活を余儀なくされている。原発から半径30キロ圏外の地域も決して、安全とは言えないと考えるが、所見を伺う。(部長)
- ③ 国と東京電力は、原発事故による被災者の営業損害賠償を打ち切ろうとしている。賠償打ち切りは、「福島切り捨て」であるとともに、加害者責任の放棄であり、断じて許されないものと考えているが、所見を伺う。(知事)

2. 島根原発について

- ① 原発の耐震安全性にとって最も重要なのは、基準地震動の評価にある。基準地震動評価の重要性について、県としての認識を伺う。(部長)
- ② 中国電力が実施した活断層再調査は、不十分であると考えているが、所見を伺う。あわせて、徹底した活断層調査が必要と考えるが、所見を伺う。(部長)
- ③ 専門家は、山陰地方の地下にひずみが集中し、大地震を起こす可能性があることを指摘した。山陰地方の地下の「ひずみ集中帯」の徹底した調査が必要と考えるが、所見を伺う。(部長)
- ④ 基準地震動の評価や活断層調査にあたって、積極的に新たな知見を採用すべきと考えるが、所見を伺う。(部長)
- ⑤ 県民の命と安全を守ることこそ、自治体の使命である。人々の幸せを奪う危険な原発は、なくす以外にないと考えているが、所見を伺う。(知事)

3. その他